

学校という「ハコモノ」が日本を救う！

学校施設の有効活用と今後の整備手法

地域スポーツ振興と学校部活動問題

神奈川大学 大竹弘和

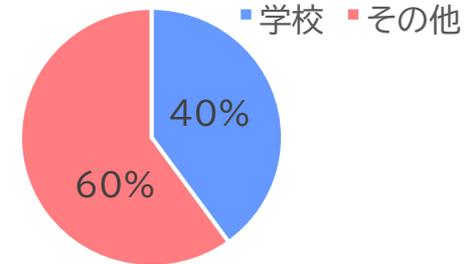
目次

1. 学校という「ハコモノ」について
2. 行政運営の新たな手法「官民(公民)連携」とは・・・
～学校というハコモノに民間投資を呼び込め～
3. 未来の学校とは・・・
4. 地域スポーツ振興と学校部活動問題
5. 大竹のチャレンジ(廃校利用の実践事例)
～参考までに……

1. 学校という「ハコモノ」について

◇公共施設のなかで学校の占める割合

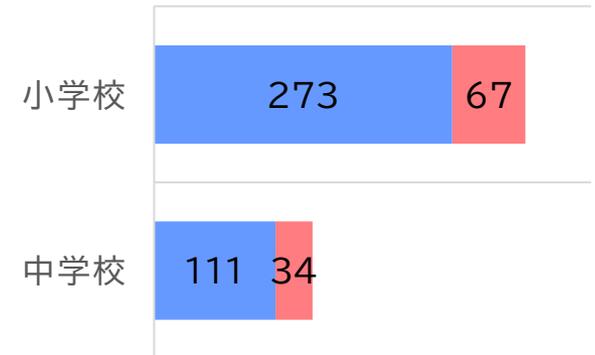
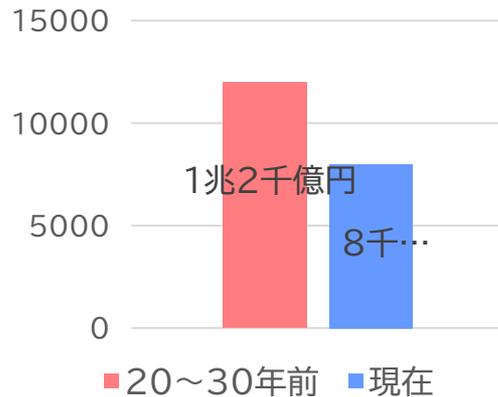
自治体の公共施設のなかで学校の占める割合は約40%と非常に大きい。



◇文部科学省

公立学校の老朽化が顕著であり、早急な対策が必要と報告(2019年調査)

今後30年間に必要な学校の改修・改築経費は約30兆円と試算されている。

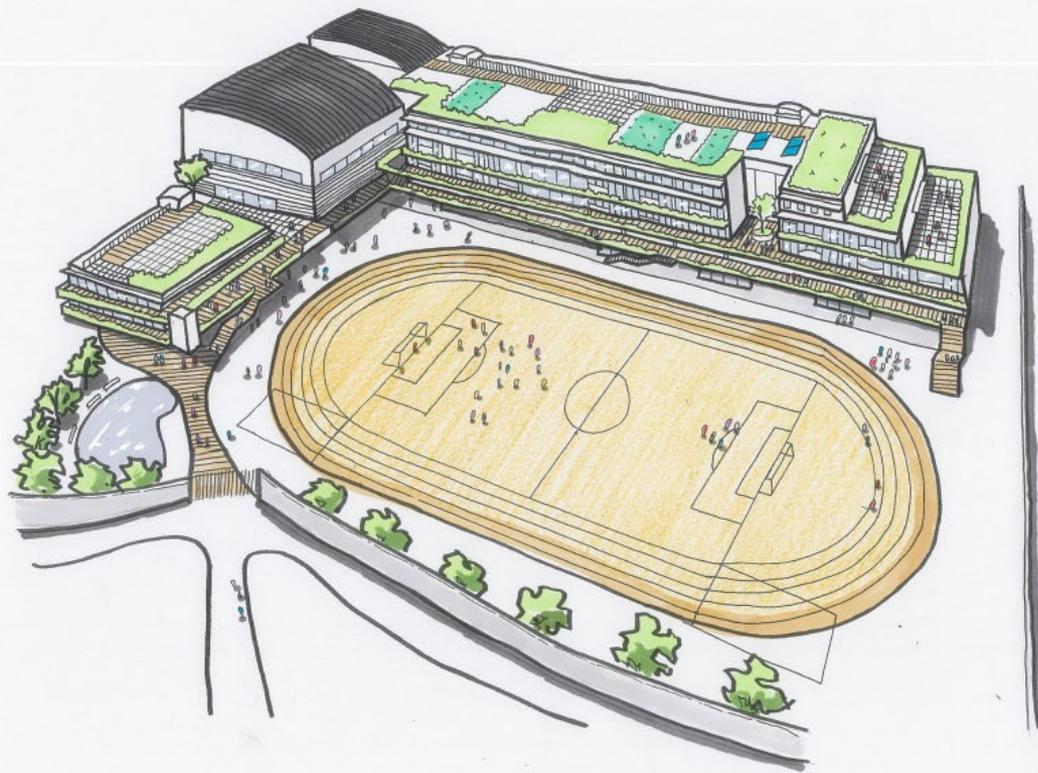


◇横浜市の建替えを必要とする学校

■ 建替え要 ■ 建替え不要

横浜市では、2051年までに384校以上(全体の約80%)の建替えが必要

従来の学校 = 「聖域」…？



- ・塀に閉ざされ(閉鎖的)
- ・学校が施設管理
- ・活用しづらい
- ・教員と生徒だけの場

- ◎年間170日使われない
- ◎15時以降使用しない

<従来>

「学校開放」を実施 ⇒ しかし非常に消極的で使用しづらい！

現代の子どもたちが置かれている現状

「三間問題」 ⇒ 三間がない・・・

時 間

多忙で時間がない

空 間

遊ぶ場(空間)がない

仲 間

学校以外で遊ぶ友達がいない

疑問
1

「小学校の隣に小さな公園がある」

- ・ 放課後や土曜・日曜日に子どもたちが遊んでいる。
- ・ 敷地が狭いためボール遊びや活発な運動はできない。

⇒しかし隣にある学校の門は閉ざされ入ることができない

その広い校庭では、子どもたちは遊びたくても遊ぶことができない

疑問
2

子どもたちの遊び場として「児童館」・・

- ・ 狭い建物の中で工作や読書、お絵かきできるが、機能的ではない
- ・ スポーツなど活発な遊びもできない

⇒ところが、その時間帯、学校の体育館、校庭、図工室、音楽室は空いている

「三間」がないのではない ⇒縦割り行政の弊害

法律が定める学校という「ハコモノ」

学校教育法第137条

「学校教育上支障のない限り、学校には、社会教育に関する施設を附置し、または学校の施設を社会教育その他公共の為に、**利用させることができる**」

社会教育法第44条(学校施設の利用)

「学校(国立または公立)の管理機関は、学校教育上支障がないと認める限り、その管理する学校の施設を**社会教育のために利用に供するように努めなければならない**」

スポーツ基本法13条(学校施設の利用)

「国公立学校の設置者は、その設置する学校の教育に支障のない限り、当該学校のスポーツ施設を**一般のスポーツのために利用に供するよう努めなければならない**」

学校施設の有効活用における阻害要因

- ①施設を学校が所有物と考えている。
- ②施設が貸し出し用(共同利用)として整備されてこなかった。
- ③学校教育を「聖域」ととらえて、民間事業者は参入できないと考えている。⁷

2. 行政運営の新たな手法「官民(公民)連携」とは・・・

～学校というハコモノに民間投資を呼び込め～

行政だけの手ですべてのサービスを行う時代の終焉

学校教員だけで子どもの問題に対応する時代ではない

官民(公民)連携 = PPP(Public Private Partnership)

行政、民間企業、非営利組織、市民がそれぞれ責任を持って得意な役割を果たしていくことによって、社会的な仕組みを構築していく手法。

官民協働型の自治体運営・社会システムの構築(民間は下請けではない)

行政の役割

コントロール・サポート(制度設計)
将来構想・ビジョンを描く
課題を明確にして仕組みを作る

民間の役割

事業展開(制度内で課題解決)
質の高いサービス展開
コンプライアンス

市民の役割

自治・自助・共助

<事業手法>

指定管理者制度、PFI、ネーミングライツ、特区制度、SIB(PFS) ほか

～学校というハコモノに民間投資を呼び込め～

<公教育> ……学校教育の役割

- ① 「国民として最低限の共通教養を子どもに身に付けさせること」
- ② 「個々の家庭や保護者の経済的・社会的条件に左右されることなく、子どもの能力を最大限に伸長させるために平等な機会を与えること」

これ以上高みの教育は<私教育>で対応…

しかし無策で「私教育」に依存すると、さらなる**教育格差**

質の高い「私教育」を安価に平等で提供する仕組み

学校という「**ハコモノ**」 + 民間の「**コンテンツ**」
(ハード) (ソフト)

教育・文化・スポーツ・交流活動をワンストップで提供

人生における「幸せ」とは何か！

「ノルウェー工科自然科学大学の研究」

「美術館やコンサートに行く人や、絵を描いたり楽器を弾いたりする人は、学歴や貧富の差に関係なく、人生に対する満足度が高い傾向がある」

○残念ながら、日本はそうした環境づくりが出来ていない。

○日本の幸福度ランキングは年々下がり続け、現在62位(OECD中)。

○ランキングの低さは「社会的寛容さ」が低いことや、職場などで拘束されて自由が利かないなど、縦割り社会の弊害が起因。

○幸福度が低い日本の状況を打破する手段

…………… 「文化・芸術・スポーツ活動」必須

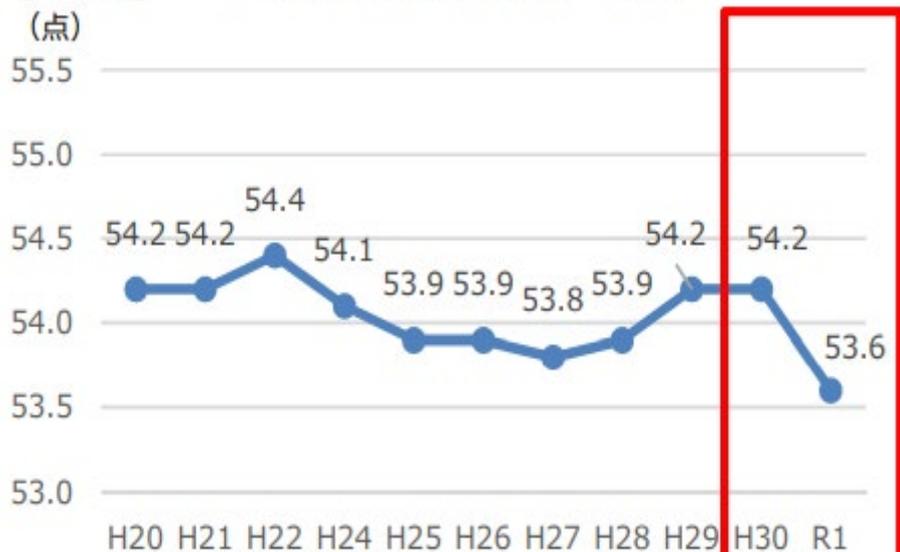
子どもの体力 = 文部科学省

体力は活動の源であり、健康維持のほか、意欲や気力の充実に大きくかかわっており、**人間の発達・成長を支える基本的な要素**

- 体力は、個々人が生涯にわたって充実した生活を送り、**明るく活力のある社会**を維持形成していく基礎となるもの
- **人間の発達・成長を支え**、人として創造的な活動をするために必要不可欠
- 肥満や生活習慣病などの健康面、意欲や気力の低下といった精神面など、**子どもが「生きる力」を身に付ける** 上で悪影響を及ぼす
- 将来的に国民全体の体力低下につながり、心身の健康に不安を抱える人々が増え、**社会全体の活力が失われる**

子どもの体力低下 (止まらない)

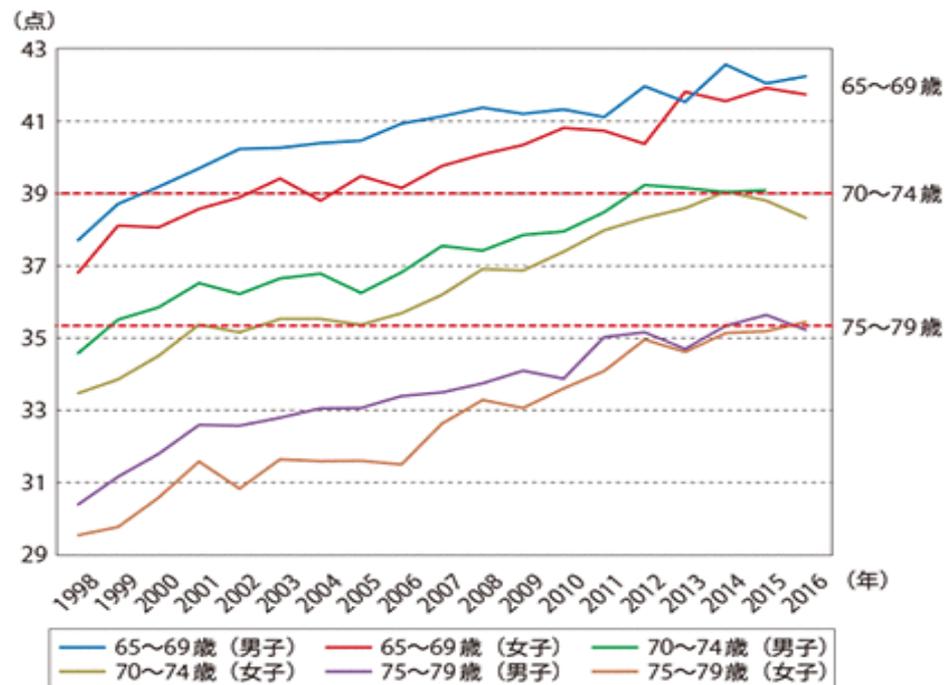
[男子] 体力合計点の経年変化 (小学生)



なぜ！！

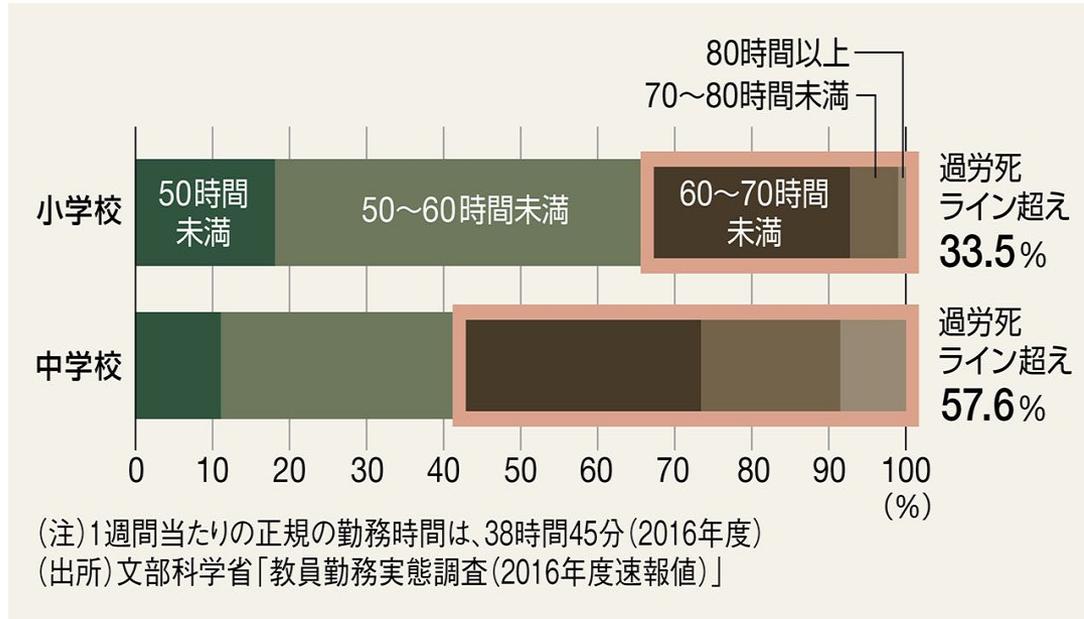
元気な高齢者

「中高齢者体力向上」 (年々増加)



資料) スポーツ庁「平成28年度体力・運動能力調査」

■ 中学校教諭の約6割が「過労死ライン」超え —1週間の勤務時間—

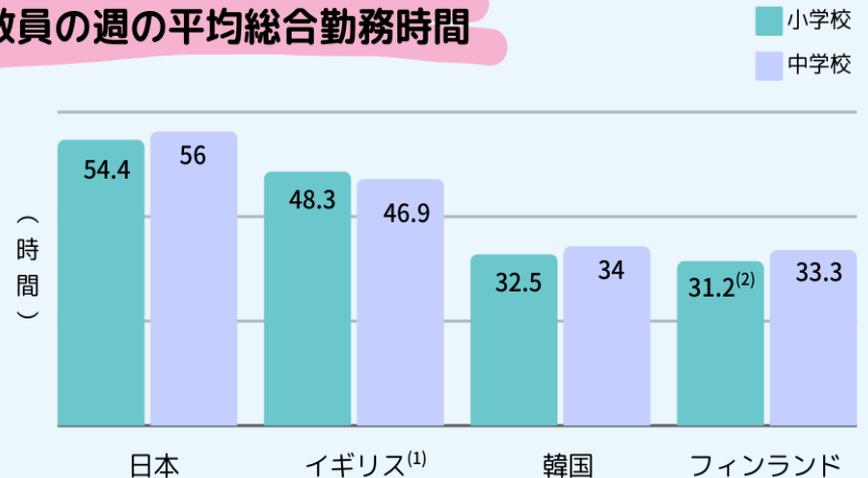


出典：東洋経済オンライン

学校教員は多忙・・・

民間の専門家を学校という「ハコモノ」に呼び込め

教員の週の平均総合勤務時間



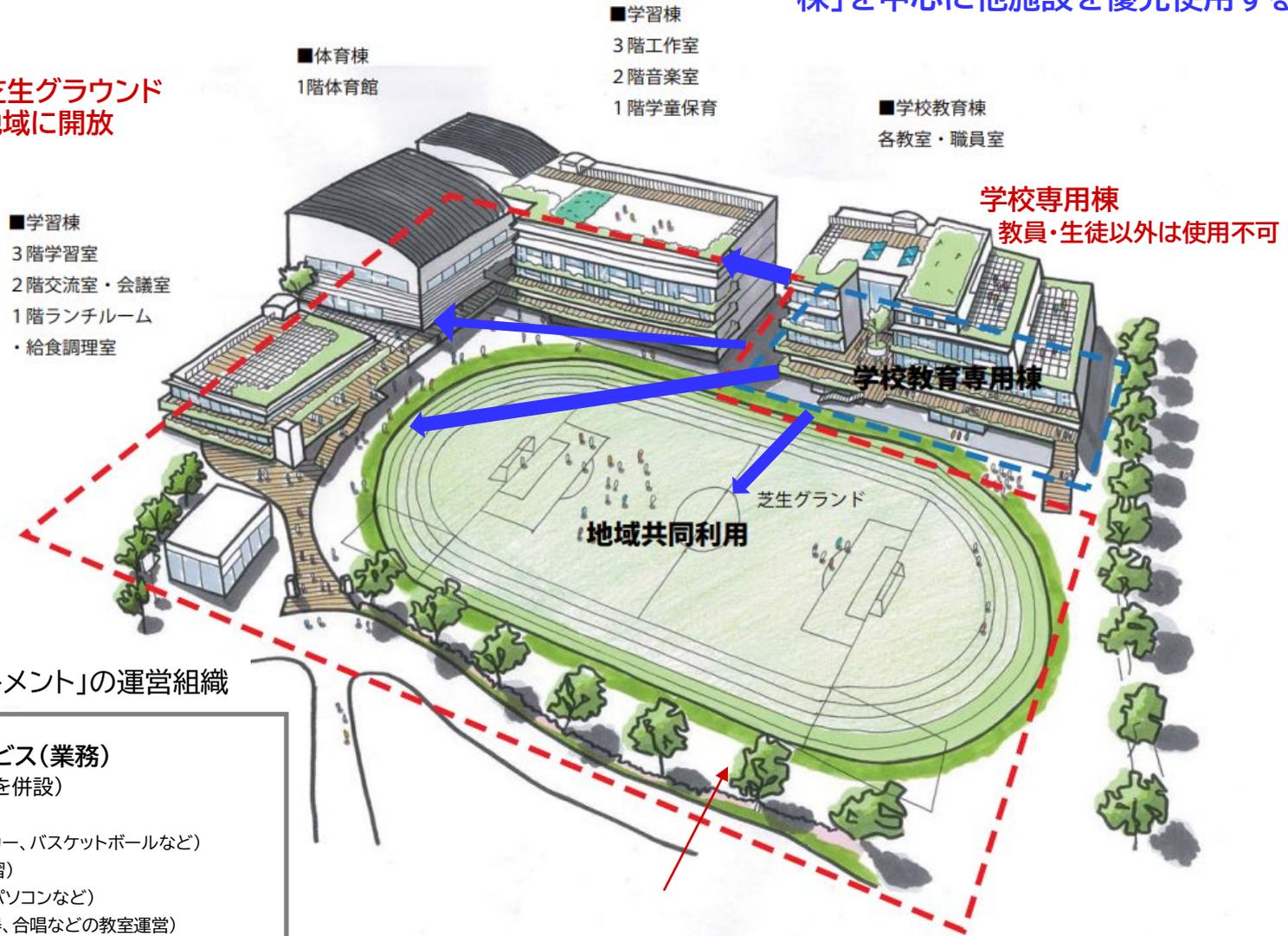
(1) イングランドに限る (2) TALIS2013データ

3.「未来の学校」とは・・・

民間事業者を活用した「未来の学校」(具体例)

学校教育(公教育)は「学校教育専用棟」を中心に他施設を優先使用する。

・「塀」なし、・芝生グラウンド
・公園として地域に開放



共同企業体で施設の一括管理を行う。複数の学校を一つの共同企業体で行うことにより効率が向上する。

「地域交流部門」の運営組織

提供サービス(業務)

- ・学童保育(児童館機能を併設)
- ・スポーツ教室
(ダンス、健康体操、サッカー、バスケットボールなど)
- ・リカレント教育(生涯学習)
および塾機能(英会話・パソコンなど)
- ・音楽教室(ピアノ等の楽器、合唱などの教室運営)
- ・図工室(絵画・工作など)
- ・給食・軽食・夕食サービス(孤食にも対応)
- ・図書館
- ・保健室(健康相談・メンタル相談)
- ・施設管理・警備業務

◎避難所としての学校

- ・全国の避難指定所のトップは、小学校、中学校、高校。
- ・現在の学校は長期間の避難には、鍵等の管理面に問題がある。
→民間事業者管理⇒避難者に必要な対応が可能になる(給食調理場)

コミュニティビジネス

市民の善意やボランティアでない ⇒ 民間事業者が責任をもって行う

代表企業(プロジェクトマネジメント)

ソフト面

ハード面

スポーツ系企業
スポーツクラブ等

教育系企業
(塾・書店など)

コンビニ・フード系企業
(給食・軽食・夕食等)

健康・医療系企業

維持管理・警備企業

設計会社

建設・設備会社

提供サービス(業務)

1. 設計業務
 2. 建設業務
 3. **学童クラブ運営(児童館機能併設)**
 4. スポーツ教室(ダンス、健康体操、サッカー、バスケ)
 5. リカレント教育及び塾機能(英会話・パソコン)
 6. **音楽室(ピアノほか楽器・合唱教室・サークル運営)**
 7. 図工室運営: 絵画・工作など
 8. **給食・軽食・夕食(孤食)サービス ランチルーム**
 9. 図書館運営サービス
 10. 保健室運営: 健康相談、メンタル相談
 11. 施設維持管理、警備業務
- ※役所出張所機能併設可能(役所からの業務委託)

地域の有用な人材、障がい者、高齢者を**雇用**(正規・アルバイト)、ボランティアの活躍

4. 地域スポーツ振興と部活動問題

中学校施設整備＝地域スポーツ拠点として学校PFI

部活動の地域移行問題をどのような視点で考えるか……

1. 地域スポーツ振興：
子供から高齢者、初心者、障がい者が参加できる、健康づくり・スポーツ活動の場
2. 地域スポーツ振興の一環として「中学生スポーツ活動(部活動)」を実施
3. 善意の市民やボランティアだけに依存(期待)しない。⇒ 民間投資・ノウハウ
⇒ 地域スポーツ振興＝**コミュニティビジネス(産業)として育てる**
4. 拠点となる施設整備 ⇒ 中学校スポーツ施設整備(**学校PFI**)

<施設整備> 二層体育館・温水プール・トレーニングジム・スタジオ(ダンス他)
テニスコート・グラウンド(サッカー等)
※小学校のプールは必要ない…

<運営> フィットネスクラブ＋総合型クラブ(NPO)、サッカークラブ

地域スポーツ施設の拠点として「中学校施設」



生涯スポーツ = 地域スポーツ振興(学校部活動も一緒に)

(生涯学習:文化部活動も一緒に)

<ゾーニング>

中央に立派な体育館建設して⇒生涯スポーツ振興

笑！

◎中央体育館 ⇒ 成果発表や評価・交流の場

◎地域スポーツ施設 ⇒ 生活圏での日常的なスポーツ活動(誘致距離)

自らスポーツを実施・地域住民へも指導や各種事業展開

スポーツを通じた「地域コミュニティ形成」



4. 大竹のチャレンジ(廃校利用の実践事例)

参考までに……

女性の社会進出、共働き社会増加

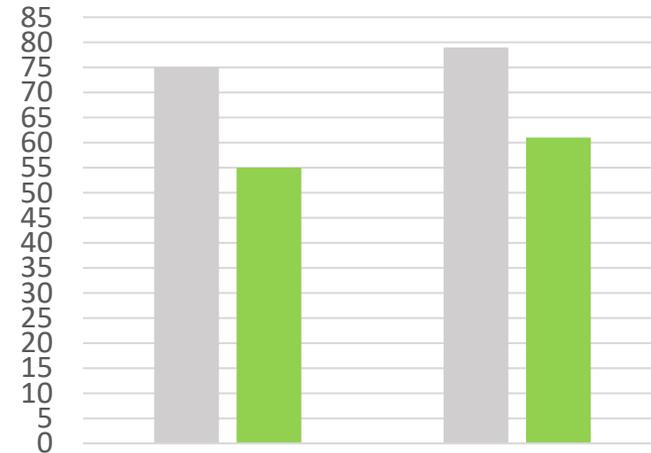
児童数数・クラブ数の推移



出典：「放課後児童クラブ関連資料」

習い事をしているか否かで
語彙力の差

15点以上の学力差



国語

24
算数

■ 通塾 ■ 非通塾

「10歳の壁」も立ちはだかる！

元新道小学活用事業



京都市が年約1億円で60年間の貸付。

小学校跡地と地域のシンボルである、宮川町歌舞練場を一体開発。

学校跡地をホテルとして、宮川町歌舞練場の敷地に自治会活動施設や児童館を併設。

活用形態	用途	(小学校跡地敷地) (歌舞練場敷地)	ホテル・消防関連施設 地域交流スペース 自治会施設・児童館・歌舞練場（劇場）
財源	整備	民間の資金	
	運営維持管理	ホテル収入や商業施設の収入	
事業主（コンソーシアム）		NTT都市開発(株)、(株)大建設計、(株)古瀬組	

新道児童館・学童クラブの運営 ⇒ 「預かる」から「**学べる**」学童クラブへ

活用形態	用途	(小学校跡地敷地) ホテル・消防関連施設 地域交流スペース (歌舞練場敷地) 自治会施設・ 児童館 ・歌舞練場(劇場)
財源	整備	民間の資金
	運営維持管理	ホテル収入や商業施設の収入
事業主(コンソーシアム)		NTT都市開発(株)、(株)大建設計、(株)古瀬組



舞妓・芸妓文化

京都には5つの花街があり、約**270名**の舞妓・芸妓がいる。ここ10年ほどは横ばいから増加傾向

350年以上の歴史を持つ女性の専門職

中学校卒業後、1年ほど修行し、テストに合格すれば、**16歳頃**に舞妓としてデビューする。

花街の中でしか成り立たない登録制の職業でキャリアパスは決まっている。



20歳過ぎには舞妓から芸妓になり、年期が明けるときに、**自営業者**として芸妓を続けるか**辞める**かを選択する。

なり手のほとんどは、伝統芸能の経験は無いが、意欲のある、**現代っ子の若い女性**たち。

芸妓を続ける場合は、専門職として常に技能を磨くことが求められる。

芸妓には定年が無く、廃業する理由は**結婚**と**他の仕事に従事**することに大別される。

舞妓・芸妓のセカンドキャリアのサポート ↳ 京都花街文化（文化・芸能）の保存と継承

＝ 舞妓・芸妓の“**高校卒業資格**”の取得＝

- ・ 芸の仕事を磨くためにも、一般的知識・教養を備える。
- ・ 芸妓として独立した場合に役立つビジネススキルの習得。
- ・ 舞妓・芸妓の世界を離れたときのセカンドキャリア形成に役立つ資格・知識・スキルの習得
- ・ 安心して舞妓・芸妓を志せるキャリア体系の構築



ご清聴ありがとうございました。

神奈川大学 大竹弘和

◎アドレス：otake@ssk-net.co.jp

◎URL <https://otakehirokazu.com>



学校という「ハコモノ」が 日本を救う!

神奈川大学教授
大竹弘和



元文科大臣・石川県知事の 馳浩氏も大絶賛!!

「目から鱗の書!! 学校をハコモノと考えて活用すれば、日本の子どもと地域社会には、途轍もなく明るい未来が訪れる!!」

白秋社

韓国にて翻訳出版(2023年2月)